

## 第1回「BCP月次オープン講座」を開催しました（2019/6/7）

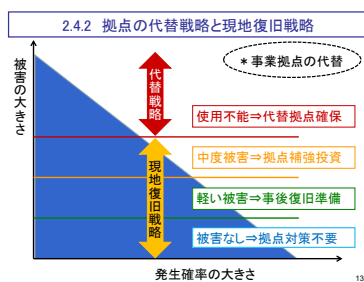
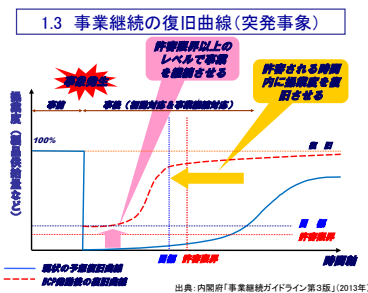
テーマ：事業継続計画（BCP）、連続講座、地域連携  
 場所：災害科学国際研究所（仙台市青葉区）  
 URL：<http://www.maruya-laboratory.jp/bcm-bcp-advice?>

2019年6月7日(金)16時から17時30分まで、東北大学災害科学国際研究所において、同研究所の事業継続マネジメント連携研究センター（事務局：人間・社会対応研究部門 丸谷研究室）の主催で、第1回「BCP月次オープン講座」を開催しました。本講座は、4月に設置された同センターの最初の主催行事です。参加者の募集には、宮城県庁及び仙台市役所の商工部局のご協力を頂きました。また、一部の企業には取引先・関係者への幅広い周知をして頂きました。

当日は、複数の県外者を含む81名という予想を上回る多数の方にご参加頂き、当研究所の丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）が講師として、「BCPとは何か」を初回のテーマとして講義を行いました。テキストに中小企業庁のBCP様式、宮城県のBCP様式、丸谷研究室の独自のBCP様式を配布したうえ、BCPで重要な「重要業務に不可欠なリソースの視点の必要性」、「代替リソースを確保する代替戦略の有効性」、「連絡先リストを連絡の目的も記載して作成することの有効性」などを強調しました。

この講座は、今後、7月5日（テーマ：被害想定）、9月6日（事業影響度分析）、10月4日（事業継続戦略）、11月1日（事前対策）、12月6日（訓練・維持管理）と、計6回を開催する予定です。6回の連続講座とした理由は、1回のセミナーでは策定に着手しても、様々にご多忙の中で、途中で止まってしまうことが多いことから、半年かけてステップバイステップで策定を進める方式としたもので、主催者のBCP支援の経験によるものです。

宮城県内でこのような継続的なBCPを学び、互いに励まし合っていく場がなかったことから、東北大学災害科学国際研究所の地域連携の事業の一つとして着手しました。今回のシリーズが有効であれば、さらに継続開催も検討していきます。



テキストの図表一部



当日の会場の様子